



本村幼稚園

2月の園だより

令和2年1月31日

港区立本村幼稚園長

山村 登洋

親も子も教職員も共に成長！生活発表会

園長 山村 登洋

二十四節季の大寒を過ぎるといよいよ来月4日頃より立春を迎えます。この先、三寒四温を経て少しずつ春が近づいてきます。今年は暖冬のおかげで、すぐにでも春が来てしまうかのような陽気です。園では、そんな暖冬の恩恵(?)を受けて、寒さ知らずの子供たちはパワー全快で園内で活動しています。まさに子供たちが多くの友だちとかかわりを持ちながら、たくましく成長しています。



28日には少し早めの「豆まき会」、よく言われる節分の会を行いました。旧暦では「立春」が一年の始まりとされ、新年を迎えるにあたって悪霊や災難を追い払うための「追儺(ついな)」という行事を行い、新しい年を迎えていたと言われています。節分になぜ豆を使うのかというと、豆は「魔滅」に通じ、ヒイラギの葉や鰯の頭などと同様に邪気を払う力があるとされているからだそうです。本園の

用務主事に鬼に変装してもらい、その鬼へ向かって「鬼は外、福は内」と声に出しながら子供たちは豆を投げていました。子供たちの無病息災を願って私たち教職員も豆まきに参加しました。最後に自分の年の数の豆も食べました。

そして、いよいよ2月1日は1年間の締めくくりの行事「生活発表会」が開催されます。1月から子供たちは、この発表会のために劇遊び、音楽遊び、チャレンジ遊び等を通して一生懸命に準備してきました。今回も子供たちの対話や意見交換も大切にして進めてきました。この話し合い活動は、自分の考えや意見を言ったり、逆に人の意見を受け入れたりすることで人として大切な相手を尊重する精神を育成していくものです。1年間の成長の集大成と位置付けて開催されるこの生活発表会には、大勢の保護者、地域の皆様のご来園をお待ちしております。緊張しながらも一生懸命に演技している子どもたちの姿に感動し、子供たちの達成感、自己肯定感の向上が感じられる発表会になると思います。



また、保護者の皆様のアトラクションも本園の生活発表会の楽しみとなっております。連日、ご多用の中、練習に参加していただき誠にありがとうございます。子供も保護者の皆様も私たち教職員も一緒に楽しみ、成長していきたいですね。